



第75回
カンヌ国際映画祭
批評家週間
クロージング上映作品

あなたの見えない眼差しを私は見ている

あしたの少女

N E X T S O H E E

監督・脚本 チョン・ジュリ 『私の少女』

出演 ペ・ドゥナ キム・シウン

チョン・フェリン カン・ヒョンオ パク・ウヨン チョン・スハ シム・ヒンブ チェ・ヒジン

スクリプト/ストーリー チェ・ヒョンホ キム・チヨルウ キム・ドンハ

プロデューサー キム・ドンハ キム・シヨン

PRESENTED BY SOLAIRE PARTNERS LLC DOMESTIC DISTRIBUTION BY TWINPLUS PARTNERS INC. EXECUTIVE PRODUCER PYUNG-HO CHOI, CHUL-WOO KIM, DONG-HA KIM

PRODUCED BY TWINPLUS PARTNERS INC. CRANKUP FILM PRODUCER DONG-HA KIM, JI-YEON KIM (P.B.K.) EXECUTIVE DIRECTOR JULY JUNG CHARACTER DESIGNER IL-YEON KIM (C.O.K.)

EDITING MIN-JAE KIM PRODUCTION DESIGNER IM CHOI COSTUME DESIGNER HAKYOUNG KIM MAKE-UP CHANG-RYEOAL OH SET DECORATION GIBYEONG SON

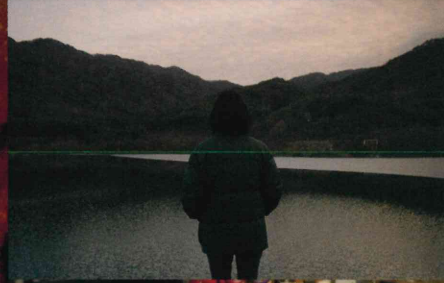
KEY PROP SANG-SHOON LEE (FIRST MOTION) STUNTS GWANG-RAK CHOI, CHAI KIM SPECIAL EFFECTS JANG-PYO HONG VISUAL EFFECTS SEONG-UK JEONG EDITING YOUNG-LIM LEE, JI-YOUN HAN

MUSIC YOUNG-GYU JANG, TAE-HYUN CHOI SOUND PILSOO KIM, MINJOO CHUNG (LEAD SOUND) DIGITAL INTERMEDIATE TAE-SIK UM (USK IMAGEWORKS) WORLD SALES FINECUT

2022 / 韓国 / カラー / ビスタ / 5.1ch / 138分 / 韓国語 / 字幕: 韓国文字 / 原題: 다움 소희 / 原題: Next Sohee / 配給: ライツキューブ / 宣伝: 山口洋平 (TAIRA)

©2023 TWINPLUS PARTNERS INC. & CRANKUP FILM ALL RIGHTS RESERVED





STORY

高校生のソヒ（キム・シウン）は、担任教師から大手通信会社の下請けのコールセンター運営会社を紹介され、実習生として働き始める。

しかし、会社は顧客の解約を阻止するために従業員同士の競争をあり、契約書で保証された成果給も支払おうとしなかった。

そんなある日、指導役の若い男性チーム長が自殺したことにショックを受けたソヒは、自らも孤立して神経をすり減らしていく。

やがて、凍てつく真冬の貯水池でソヒの遺体が発見され、捜査を担当する刑事・ユジン（ペ・ドゥナ）は、彼女を自死へと追いやった会社の労働環境を調べ、いくつもの根深い問題をはらんだ真実に迫っていくのだった…

INTRODUCTION

ある高校生の死をめぐる衝撃的な実話を映画化。

『私の少女』から8年—チョン・ジュリ監督、待望の最新作! 2017年、韓国の全州(チョンジュ)市で衝撃的な事件が起こった。現場実習生として大手通信会社のコールセンターで働き始めた現役高校生が、わずか3ヵ月後に自ら命を絶ったのだ。この悲劇的な実話に基づく『あしたの少女』は、巨匠イ・チャンドンがプロデューサーを務めた『私の少女』で鮮烈な長編デビューを飾ったチョン・ジュリ監督の最新作。8年ぶりにメガホンを執ったチョン監督は、ダンス好きの明るい少女が想像を絶する過酷な労働環境に疲弊し、ついには自死へと追いやられていく様を、迫真のリアリティをこめて描ききった。無垢な青少年を消耗品のようにこき使う企業の実態をあぶり出した本作は、日本よりもはるかに競争が厳しいと言われる韓国の社会システムの歪みをも告発する。社会の未来を担う存在であり、本来は守られるべき子供や若者が大人たちに搾取されるという理不尽な問題は、私たち日本人にとっても決して他人事ではない。

韓国を代表するスター女優ペ・ドゥナ×新星キム・シウン 労働搾取の犠牲者となった少女の悲劇と生のきらめきを描く。

本作は、2部構成となっており、ソヒが実習生としてコールセンターで働く前半のパートは、物語のベースになった実際の事件を忠実に再現。もう1人の主人公、刑事ユジンが登場する後半はチョン監督の創作で、韓国の労働問題を追及してきたジャーナリストらに触発され、ユジンのキャラクターを構築したという。1つの事件を2つの視点で描くというユニークな着想と、ユジンがソヒの足取りを追体験していく捜査のプロセスは、2つの異なる時間軸が共鳴するような感覚を観る者にもたらす。そして、それを象徴する、あるシーンの“光”をモチーフにした演出は、観客それぞれの想像力を刺激せずにはいられない。

2022年、韓国映画として初めて「カンヌ国際映画祭」の批評家週間の閉幕作品として選ばれ、「第23回東京フィルメックス」での審査員特別賞受賞の他、多数の国際映画祭での受賞を果たすなど、映画ファンから日本での劇場公開が待ち望まれていた作品が遂に公開となる。

ashitanoshojo.com

高知市立中央公民館事業
第203回

市民映画祭

6月20日(木)
21日(金)

高知市文化プラザかるぼーと 大ホール

※同時上映 探偵マーロウ

主催 市民映画会運営委員会・公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市

	探偵マーロウ	あしたの少女
上映時間	10:00 14:55 19:30	12:20 17:00
開場 9:30 / 終了 21:21		

料金 一般前売券1,300円 一般当日券1,500円
割引券1,000円 (映画会当日に会場にて販売)
※割引券の購入対象者は学生証・障害者手帳等の所持者および65歳以上(要年齢証明)の方。
※障害者手帳をお持ちの方で介助が必要な場合は、介助者1名まで割引料金。
【前売券販売所】
かるぼーとミュージアムショップ、県民文化ホール、県立美術館ミュージアムショップ、金高堂書店 本店、サニーマート各店舗
【お問い合わせ】 高知市文化振興事業団 ☎088-883-5071